

5/10 朝日

大飯原発4号機再稼働

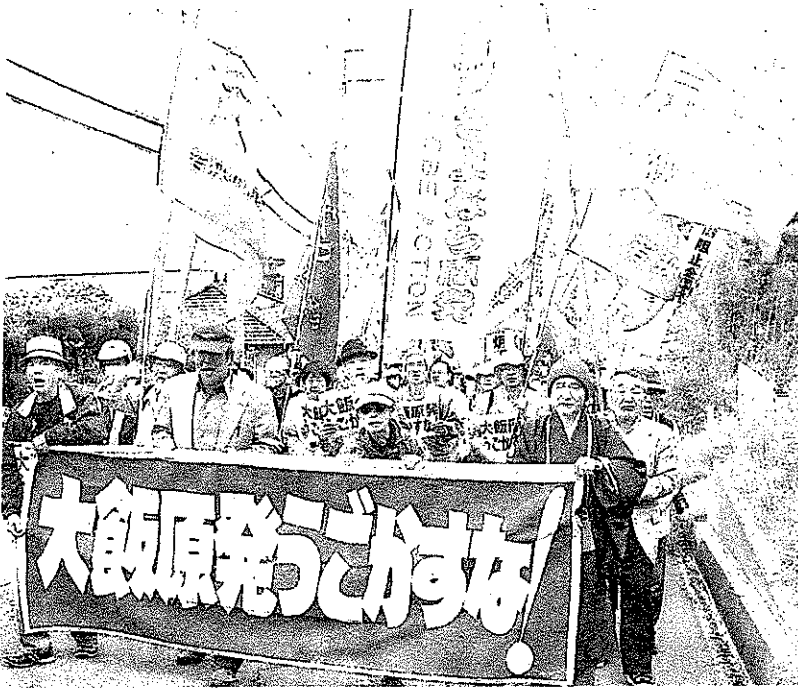
市民ら抗議の声

関西電力大飯原発4号機（おおい町）が再稼働した9日、再稼働に反対する市民らが原発の周辺や街頭で抗議の声を上げた。

おおい町の大飯原発のゲート前では、市民団体のメンバーら約100人（主催

者発表）が再稼働反対を訴えた。メンバーらは「大飯原発うごかすな！」と書いた横断幕や紙を掲げ、近くの海水浴場からゲート前まで行進した後、再稼働の中止や原発の全廃などを求める申入書を関西電力の担当

者に手渡した。
2011年3月の東京電力福島第一原発事故の後、福島市から避難し、現在は京都市で暮らしている加藤裕子さんは「原発事故後、避難者は家族が引き裂かれたり、地域がバラバラになったり、大変な暮らしを強いられている。二度と同じことを起こさないように、声を届けたい」と話した。
福井市の県庁前でも、市



①大飯原発4号機の再稼働反対を訴えながら行進する人たち②おおい町大島
③大飯原発の再稼働に抗議の声を上げる人たち④県庁前

民らが抗議活動を繰り広げた。県内の市民団体からなる「オール福井反原発連絡会」の呼びかけに、約30人が参加。「原発再稼働許すな!」「人類の未来のために原発ゼロ社会を!」と書かれた横断幕を持ち、県庁や関電に向けて抗議のメッセージを送った。林広員さん(58)は「原発の安全神話は崩れている。避難計画もずさんで、再稼働には納得できない」と話した。

再稼働を受け、西川一誠知事は「関西電力においては最大限の注意を払い、安全運転に努め、原子力に対する県民の信頼を得ていかなければならない」とコメント。また、おおい町の中塚寛町長は「トラブルなく安全に起動されたことに安堵している。必要とされる重要なベースロード電源として、国、産業、国民生活を支えることに、立地が誇りを持つよう、緊張感を持って安全最優先で取り組みたい」とのコメントを出した。

（八百板一平、山田健悟、菱山出）